



なかてや

11月9日(土)10時より「なかてはら秋のふれあいまつり」が広場公園にて盛大に開催されました。会場にはマザークラブによるバザーや焼きそばの販売、りんどうの会によるピリ辛こんにゃくなどの販売、自治会青年部による豚汁とクレープの販売、仲麻会による古本販売などが並び来場者をにぎやかに迎えていました。



なかてはら

第69号

発行
仲手原自治会

秋のふれあいまつりのメインイベントであるコンサート&演舞には、港北小学校4年生6年生の総勢約100名が登場。4年生の「港北小ひびけイヤヤーサーサ」、6年生の「とどろけ!港北ソーラン75!」が順に披露され、それぞれ息の合ったかけ声と迫力ある演舞に会場は大盛り上がりでした。続いて地元の歌唱&演奏グループ「Good Life」が登場するとムードは一転、落ち着いた演奏と渋い歌声が響き渡りました。



福祉バザー



ジャズユニット Good Life



とどろけ!港北ソーラン75! [6年生]



港北小ひびけイヤヤーサーサ [4年生]

今回は好天にも恵まれ最後まで多くの人で賑わったふれあいまつりとなりました。特にお子様からシニアまで様々な世代が楽しく交流している姿が仲手原らしく印象的でした。準備や運営に尽力してくださった皆様、本当にありがとうございました。(加藤篤志)



神奈川大学 COLLEGE SOUNDS ORCHESTRA

最後は前回に引き続き神奈川大学の「カレッチ・サウンズ・オーケストラ」が登場。ビッグバンドらしいサウンドに観客も思わず体でノッて応えていました。今回、新たな試みとしてこれら演舞がインスタライブで生配信され、会場に来れなかった多くの方に視聴されていました。



10月14日(月)祝第47回篠原地区健民祭「スポーツフェスティバル」が武相中学・高等学校グラウンドにて開催されました。当日は天候にも恵まれ、参加者達は秋晴れの青い空の下、爽やかな風に包まれながら気持ち良さそうに軽スポーツを楽しみました。

グラウンドには「モルック」、「ポッチャ」、「グラウンドゴルフ」、「ラダー



50m徒競走



ラダーゲッター



ポッチャ



輪投げ



武相中学・高等学校グラウンド



グラウンドゴルフ



ナインゴール



ユニホック



モルック

「ゲッター」、「玉入れ」、「輪投げ」、「ナインゴール」、「ユニホック」、「50メートル徒競走」、「ラグビーボール遊び」といった10種類のスポーツが各コーナーで用意されていました。いずれも、年齢を超えて気軽に参加できる競技内容で、参加者達は各コーナーの審判を務めた体育指導員や青少年指導員からルールを教わりながら楽しそうに

プレイしていました。ご家族で参加した方もいれば、お友達同士で参加した方もいて、参加者の年齢層は幅広く、世代間の交流が見られました。コロナ禍以降、健民祭の新しいスタイルとなった「スポーツフェスティバル」の今回はどのような形で開催されるのか・・・今から楽しみです。

(山口美和)



9月16日自治会館に於いて横浜ソーワクリニック院長 高橋直樹先生による「がんにならないために大切なこと」という医学講話がプロジェクトを使用してありました。その趣旨は概略次のようでした。

現在がんに罹る割合は男性が63%、女性は48%、死亡は男性が4人に1人、女性は7人に1人。

例えば胃がんの発生原因として①ピロリ菌の感染、②喫煙、③アルコール他の暴飲暴食、④細胞のコピーミスがある。

多くのがんの発生原因の割合は次の①～⑥と考えられる。

- ①喫煙 30%
- ②食事 30%※
- ③運動不足 5%
- ④職業(過労働) 5%
- ⑤遺伝によるもの 5%
- ⑥アルコール 3%

※ ②食事とは赤身や加工肉、塩蔵食品の

この①～⑥を減らし、健康生活習慣を行えば、がん発生を大きく減少させる事が可能である。(中村泰雄)



㊤訓練参加者 ㊦篠原消防出張所野口拓海所長



10月20日(日) 午前10時から仲手原自治会防災訓練が開催されました。自治会員の方々、武相高校の生徒さん総勢約50名が二丁目公園に集

まり、斎藤自治会長と篠原消防出張所野口拓海所長の挨拶のあと、港北消防団第二分団第5班の団員7名の指導のもとグループに分かれて訓練が始まりました。

訓練がひととおり終了し、野口所長による講評を戴いて午前12時に散会しました。スタンドパイプ初期消火器による放水訓練は、毎年2月に開催されます。地域の皆さんの参加をお待ちしています。



災害時仮設トイレの説明



AEDを使用した救急救命訓練



水消火器による消火訓練



防災食の調理実習(親子丼)

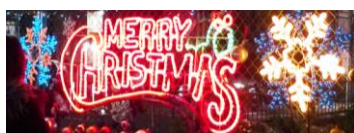


小型発電機の起動訓練と救助工具説明



スタンドパイプ初期消火器の説明

今回の訓練項目は次のとおりでした。



この日17時からは、自治館前の庭において「クリスマス飾りの点灯式」が開催されました。斎藤自治会長および井上ことぶき会長の挨拶があり、集まった子どもたちと共にカウ

ンクリスマス飾り体験会を行いました。紙皿をレース地で包んだのち色々な部材を接着していきます。今回の参加者は子ども19名、保護者13名でした。1時間程度経過すると、完成したリースがホワイトボードに展示され始めました。開始から約1時間半で体験会は終了しました。

12月8日(日)13時より自治会館において「子どもミニリース作り体験会」が開催されました。指導は村野副会長で、役員および青年部の皆さんがサポートしました。紙皿をレース地で包んだのち色々な部材を接着していきます。今回の参加者は子ども19名、保護者13名でした。1時間程度経過すると、完成したリースがホワイトボードに展示され始めました。開始から約1時間半で体験会は終了しました。



展示された完成リース

子どもミニリースの体験会 & クリスマス飾りの点灯式



子どもたちはサンタさんとの記念撮影を行ったり、150袋用意されたお菓子をプレゼントされるなど30分間の密度の濃い式典は終了しました。



サンタさん登場



青年部のおねーさん演奏やおにーさんによる「もろびとこぼぞりて」などのハンドベル演奏が行われました。続いてサンタさんが登場しみんなの大歓迎を受けました。

点灯後、役員・青年部のおねーさん演奏やおにーさんによる「もろびとこぼぞりて」などのハンドベル演奏が行われました。続いてサンタさんが登場しみんなの大歓迎を受けました。

トダウンの後点灯が行われました。今回は、青年部・ことぶき会により当日お昼までにイルミネーションの飾り付けが行われました。7、8日の昼間は子どもたちにより自治会館和室で飾りの製作が行われていました。また、家庭で不要になったクリスマス飾りを寄贈していただき、これらの飾り付けも行われました。



飾り製作中

仲手原寄席

11月24日(日)14時より、自治会館において恒例の「仲手原寄席」が開催されました。今回は、三遊亭好志朗さん並びに桃月庵黒酒さんのお二人に古典落語4題をお願いしました。観客は約50人、主催者側は自治会芸能担当岡田二郎さんの司会で開催され、いっとき余りを笑いの渦に巻き込みました。

演目(前半)

三遊亭 好志朗 「権助魚」

桃月庵 黒 酒 「初天神」

中入り(休憩)



中入り

ジャンケンにより、嘶家お二人から色紙3枚ずつのプレゼントがありました
 ㊦桃月庵 黒酒さん ㊧三遊亭 好志朗さん

演目(後半)

桃月庵 黒 酒 「長屋の算術」

三遊亭 好志朗 「転宅」



みちくさの会

12月10日(火)自治会館にて「みちくさの会」がありました。当日は30数名の方が出席し、井上会長の挨拶、会よ

りの報告のあと演奏会が開かれました。日高麻子さんのピアノ伴奏で浅沼美穂さんがソプラノの素晴らしい声でオペラ「蝶々夫人」や童謡、映画音楽等を独唱されました。(写真参照)会の最後にケーキとお茶が出て、雑談後終了となりました。

この会は、平成6年井上禮子さんが、「家に引きこもりがちな高齢者」を対象にして外に出て人と交流する場を設けようという趣旨で開設しました。今はどなたでも参加が可能です。男性の方の参加も大歓迎しています。参加費は無料で、仲手原自治会及び社協の協賛金で運営されています。月1回、第2火曜日午後1時30分より開催します。主な年間行事は、外での食事も、お花見、手芸、映画鑑賞、音楽鑑賞があります。



Nゲージを走らせよう!

12月29日(日)10時～15時、前年に続き自治会役員 阿部ふささんのご協力によりNゲージ運転会「Nゲージを走らせよう!」が自治会館において開催されました。前回と異なり今回は複雑なレイアウトが

青年部の皆さんにより組み立てられ、コントローラー2台での運転となりました。集まった子どもたちは約50人でしたが、運転権番号は119番まで進みました。

運転を終わ

った子どもたちは籤をひいて、カレンダーやお菓子などの景品を当てていました。



プラレール系

レイアウト 2024



12月21日(土)、冬至当日が「日の出を見る会」となりました。横浜の日の出は6時47分、約10分遅れで鳥居越しに篠原八幡神社本殿へ御来光が照射されました。

自治会だより

- 2月 「なかてはら」第69号発行
自治会親睦バス旅行(9日)
初期消火器具放水訓練(23日)
- 3月 新旧役員交代懇親会(1日)
新班長・組長業務説明書配布
- 4月 自治会費集金
- 5月 ふれあいまつり(10日)
自治会定期総会(18日)

子供会だより

- 2月 節分豆まき大会(2日)
親子スキー教室(14日、16日)

編集スタッフ

- 植木幹造・押尾泰典・加藤篤志・山口美和

編集責任者…中村泰雄